

株式会社ニレコ**2023年3月期
第2四半期決算説明資料****(証券コード：6863)****2022年11月14日**

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

業績推移

22/3期上期

23/3期上期

23/3期計画

受注高 5,111百万円
(21/3期上期比+51%)

受注高 5,718百万円
(22/3期上期比+12%)

受注高 10,500百万円
(前期比+10%)

売上高 4,019百万円
(21/3期上期比+11%)

売上高 4,004百万円
(22/3期上期比▲0%)

売上高 9,000百万円
(前期比+11%)

営業利益 253百万円
(21/3期上期比▲26%)

営業利益 364百万円
(22/3期上期比+43%)

営業利益 800百万円
(前期比+42%)

実績及び計画

重点テーマ

- ◆ 市場の拡大
- ◆ 技術の進化
- ◆ 株主還元

いかなる環境下においても成長できる企業グループの実現

事業基盤の拡大強化

競争優位性の向上

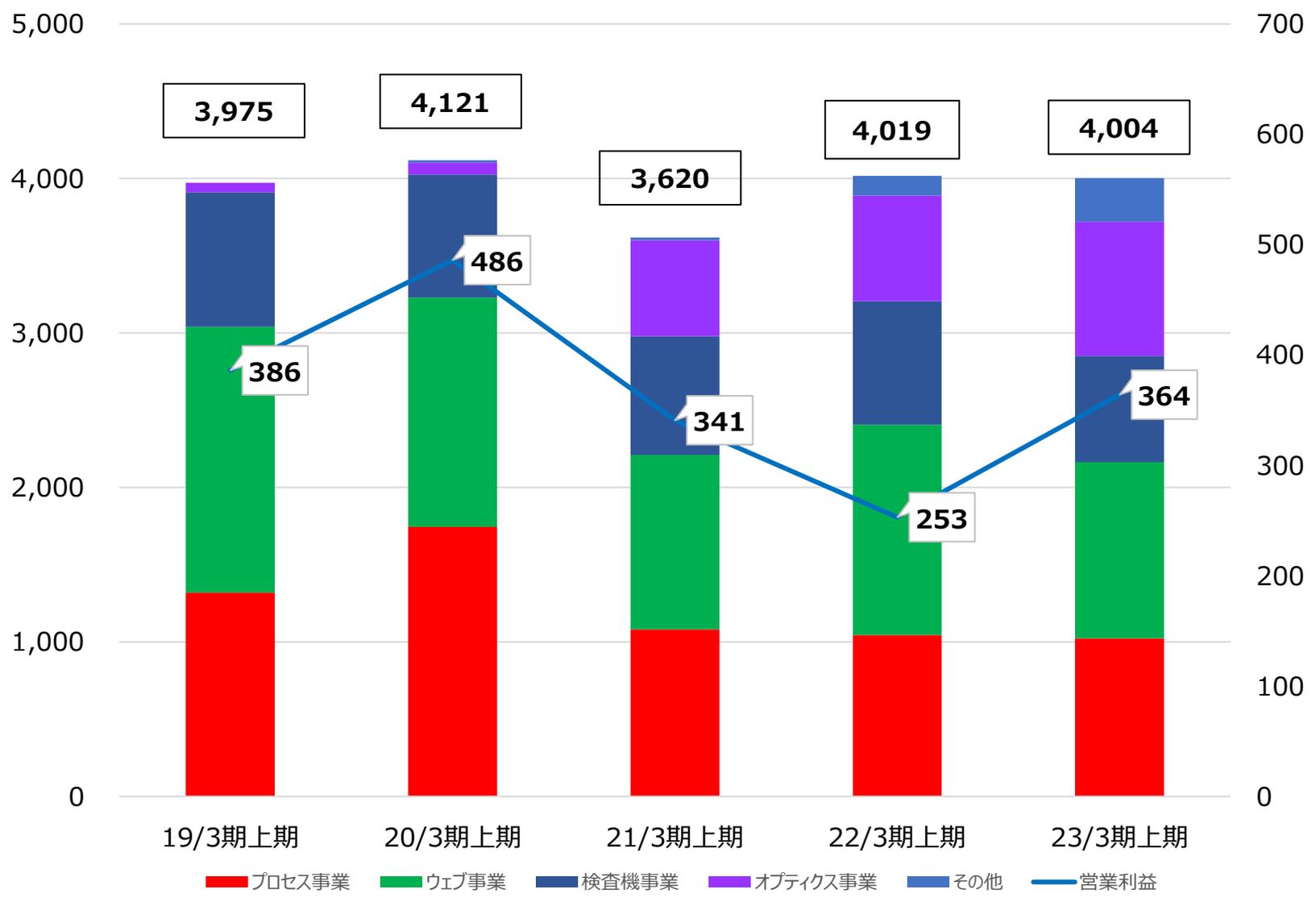
23/3期上期の取組み

- オプティクス事業の強化
- 代替部材採用・調達ルート開拓等による調達適正化
- 取扱製品の拡充及び新製品開発・上市

連結配当性向 40%以上かつ連結自己資本配当率 (DOE) 2%以上を目標

上期業績推移

(単位：百万円)



1. 上期実績及び今期計画
2. 持続的成長に向けて
3. トピックス

1. 上期実績及び今期計画

連結実績

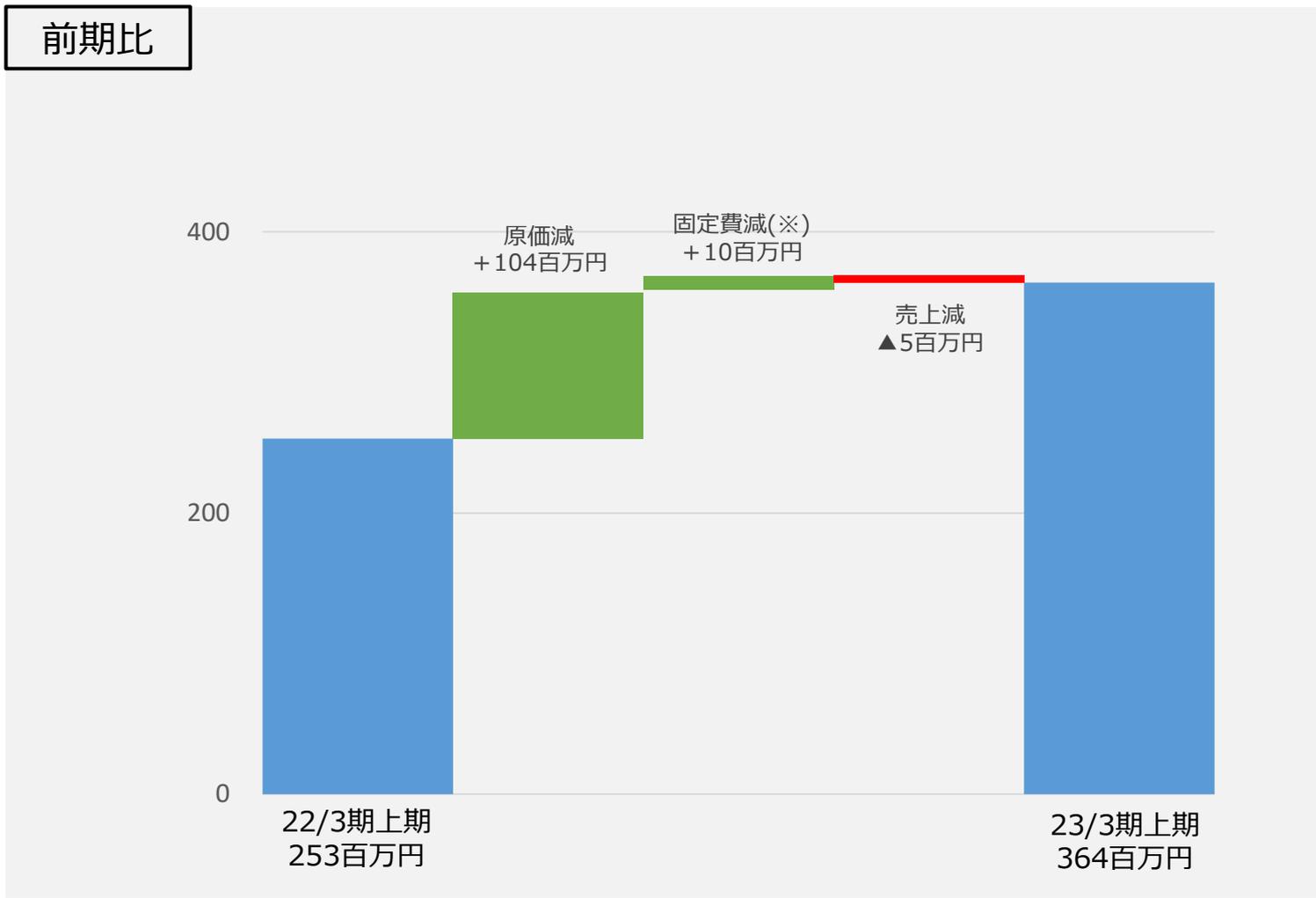
- ▶ 部材調達難などから売上高は前期実績・期初計画を下回ったものの、複数の事業において利益が計画を上回り、各利益項目は前期実績・当初計画を上回った

(単位：百万円)

	22/3期		23/3期		増減率	
	上期実績	期初計画	上期実績	前期比	計画比	
受注高	5,111	4,900	5,718	+12%	+17%	
売上高	4,019	4,200	4,004	▲0%	▲5%	
営業利益	253	150	364	+43%	+143%	
営業利益率	6.3%	3.6%	9.1%	-	-	
経常利益	293	180	410	+40%	+128%	
経常利益率	7.3%	4.3%	10.3%	-	-	
親会社株主に帰属する当期純利益	182	120	268	+47%	+123%	
当期純利益率	4.5%	2.9%	6.7%	-	-	
1株当たり当期純利益(円)	24.90	16.37	36.69	+47%	+124%	
受注残高	4,006	4,706	6,089	+52%	+29%	

営業利益増減要因

➤ 原価率の低い製品販売が多かったことが、原価減につながった



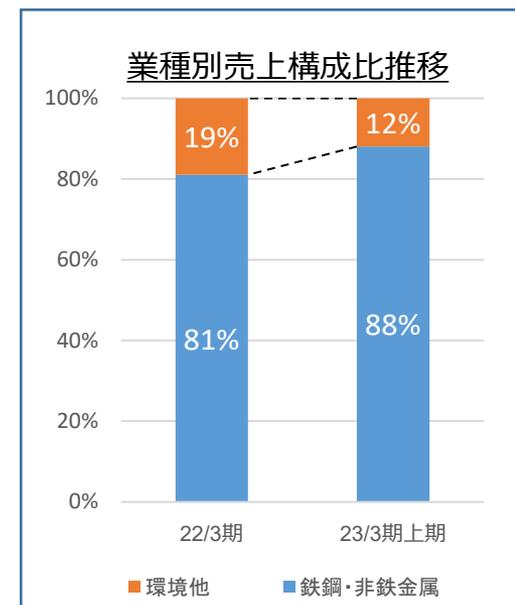
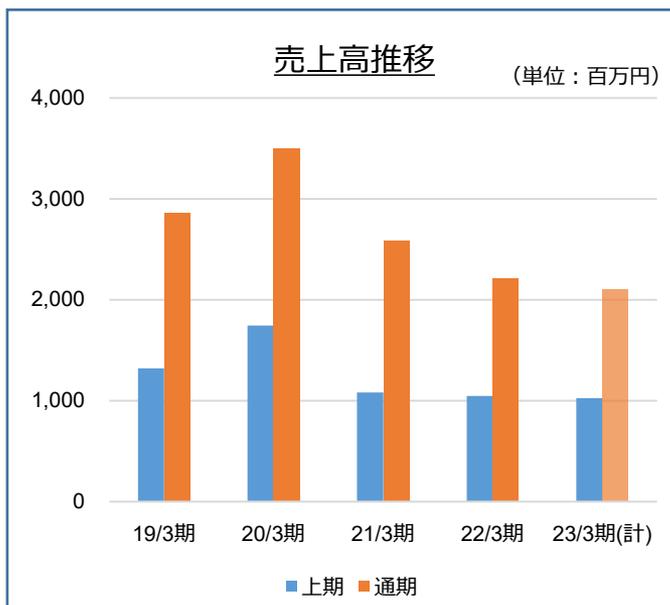
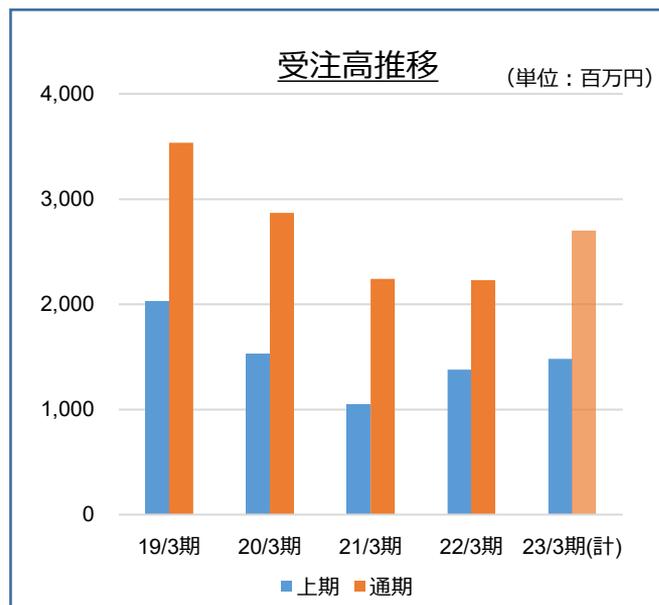
※固定費 = 販売費及び一般管理費

プロセス事業

- 期初受注残高が低水準であったことやサプライチェーンの混乱影響により、上期の売上高は前期と同水準
- 鉄鋼業界の業績回復を受け、受注は回復基調

(単位：百万円)

	22/3期	23/3期		計画	
	上期実績	上期実績	前期比	通期計画	上期進捗率
受注高	1,378	1,483	+8%	2,700	55%
売上高	1,045	1,023	▲2%	2,100	49%
セグメント利益	89	109	+22%	200	55%
セグメント利益率	8.6%	10.7%	-	9.5%	-



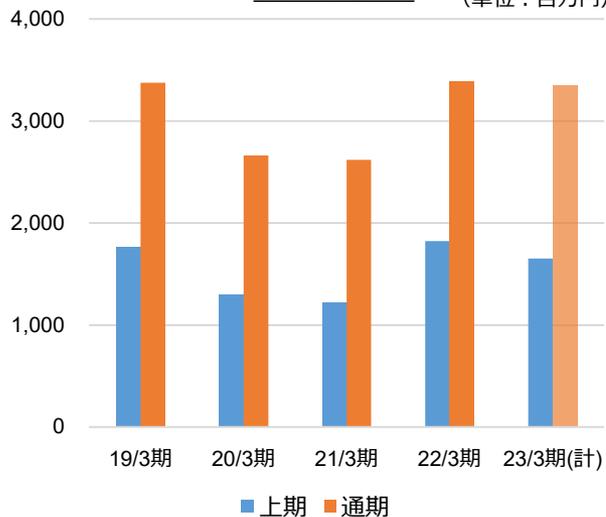
ウェブ事業

- 二次電池業界需要を中心に、受注堅調
- 部材調達難などによる出荷までの期間長期化から、受注残高は高水準にあるものの売上高・利益減少
(単位：百万円)

	22/3期	23/3期		計画	
	上期実績	上期実績	前期比	通期計画	上期進捗率
受注高	1,823	1,652	▲9%	3,350	49%
売上高	1,361	1,142	▲16%	2,750	42%
セグメント利益	157	142	▲10%	330	43%
セグメント利益率	11.6%	12.5%	-	12.0%	-

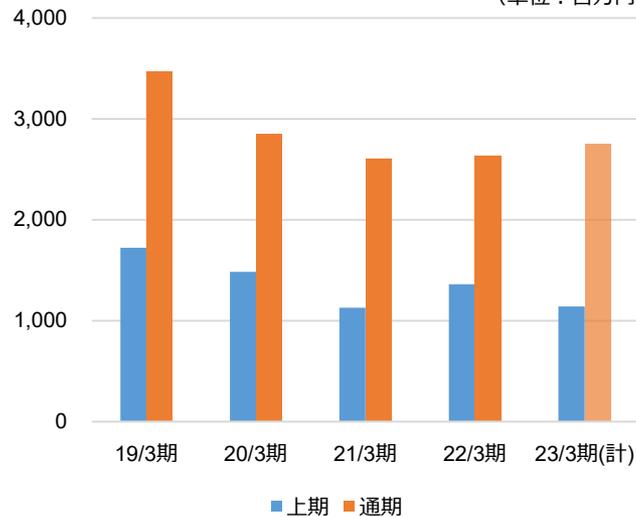
受注高推移

(単位：百万円)

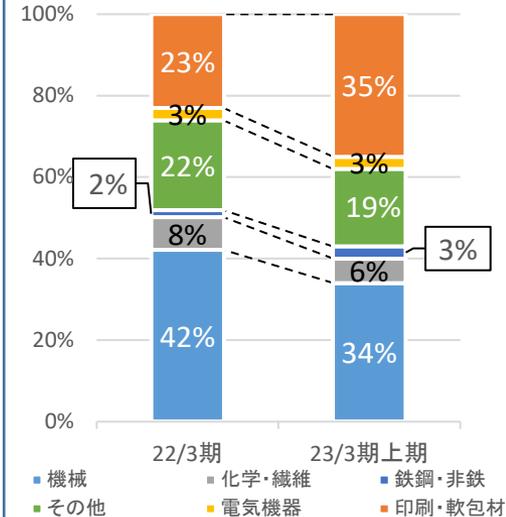


売上高推移

(単位：百万円)



業種別売上構成比推移

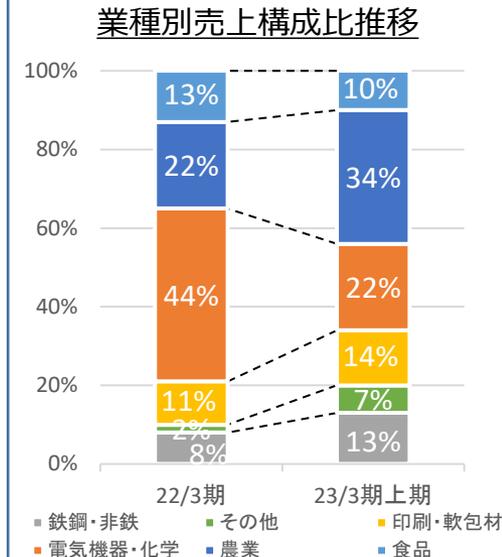
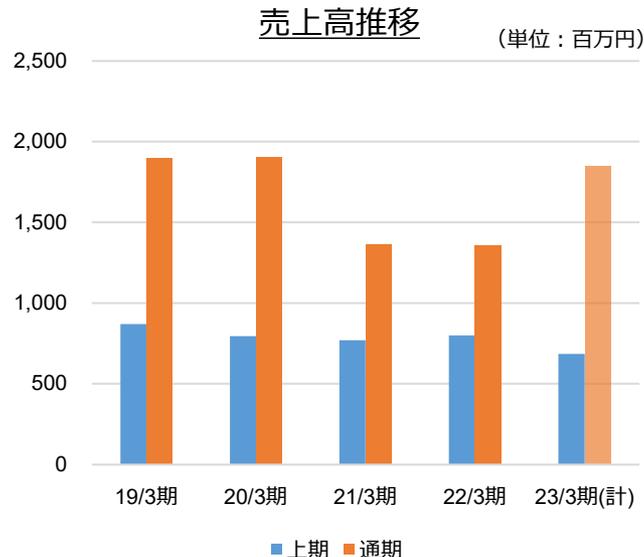
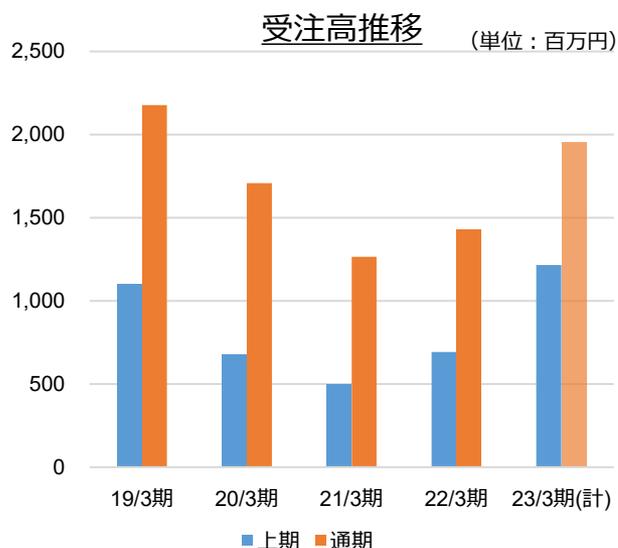


検査機事業

- 検査装置需要は、二次電池向けなどで顧客の設備投資意欲堅調
- 電極シート向け新製品「Mujiken-RB」や食品検査装置の拡販注力

(単位：百万円)

	22/3期	23/3期		計画	
	上期実績	上期実績	前期比	通期計画	上期進捗率
受注高	693	1,216	+75%	1,950	62%
売上高	800	686	▲14%	1,850	37%
セグメント利益	33	1	▲96%	160	1%
セグメント利益率	4.1%	0.2%	-	8.6%	-



オプティクス事業

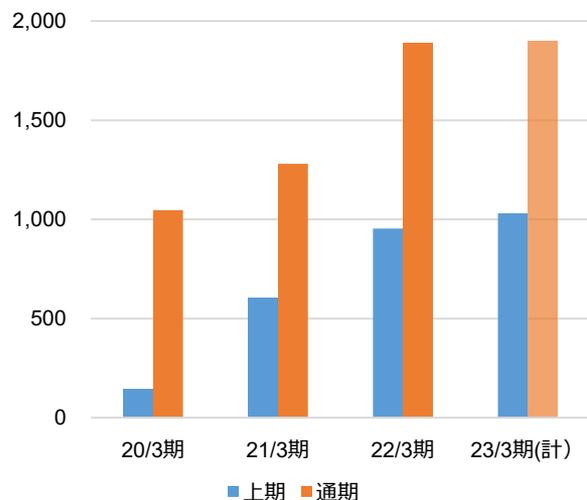
- 半導体検査装置向けなどで海外向け含め光学部品好調維持
- 足元の受注堅調。光学部品生産性向上により収益拡大

(単位：百万円)

	22/3期	23/3期		計画	
	上期実績	上期実績	前期比	通期計画	上期進捗率
受注高	954	1,031	+8%	1,900	54%
売上高	684	870	+27%	1,700	51%
セグメント利益	182	358	+97%	580	62%
セグメント利益率	26.6%	41.2%	-	34.1%	-

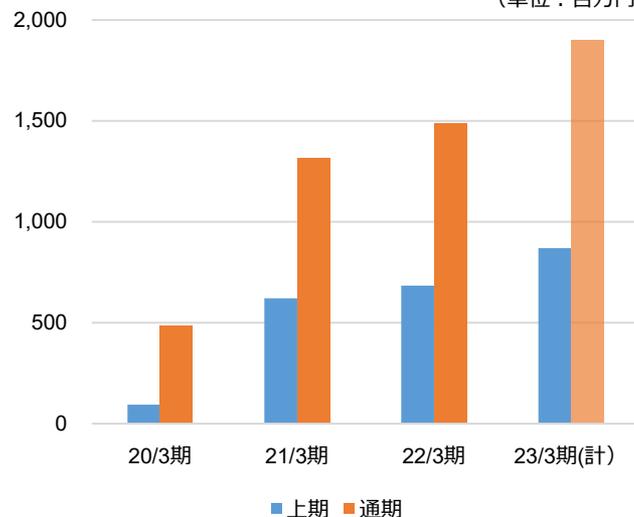
受注高推移

(単位：百万円)

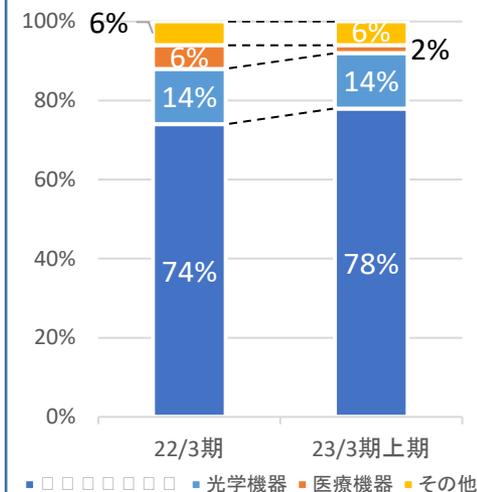


売上高推移

(単位：百万円)



業種別売上構成比推移



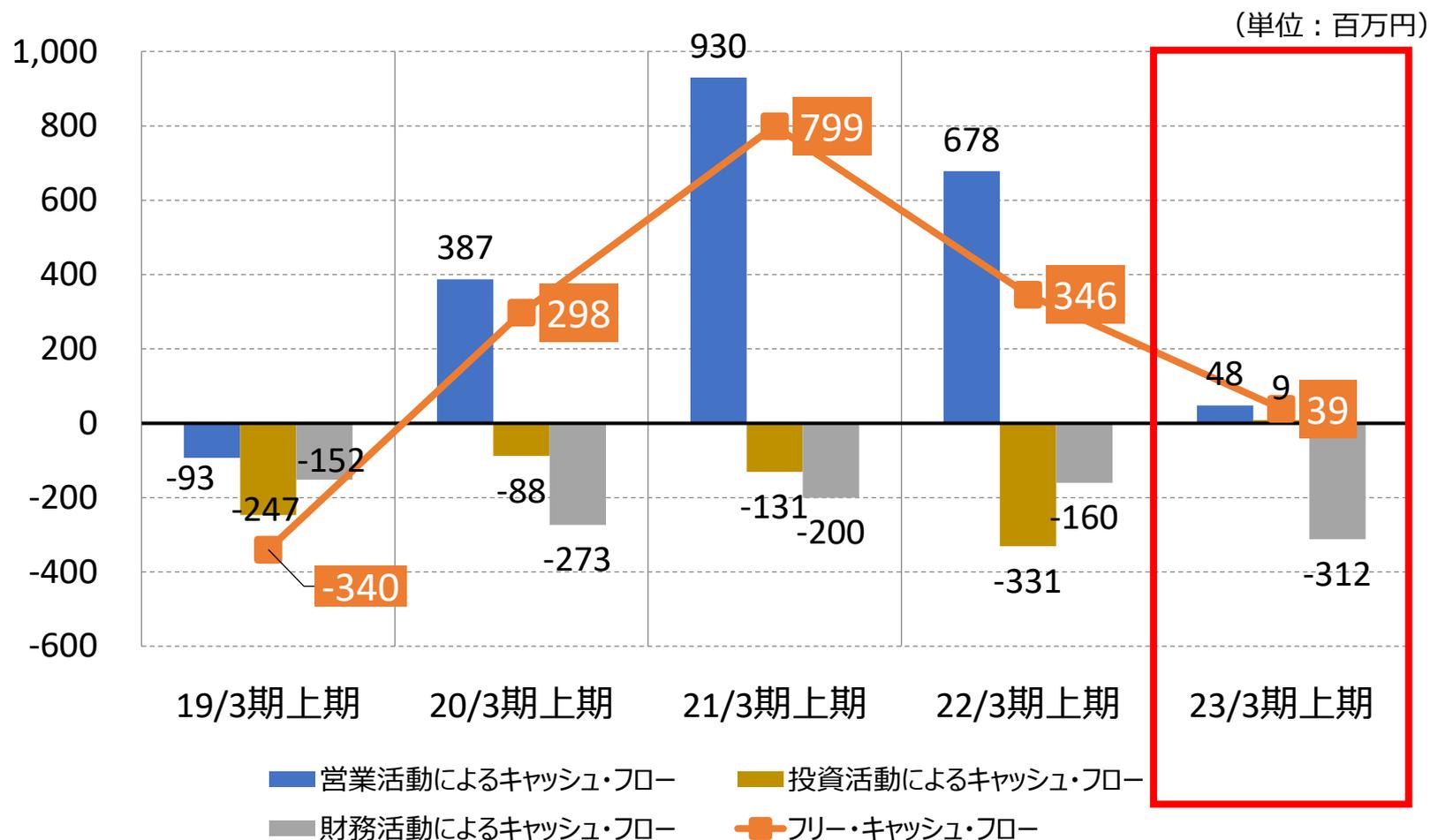
※オプティクス事業は20/3期より区分し、20/3期上期の受注高、売上高推移については、従来の「その他」区分を記載しています。

貸借対照表

(単位：百万円)

	22/3期		23/3期上期		前期末比
	金額	構成比	金額	構成比	増減額
現金・預金	4,834	29.9%	4,592	28.5%	▲ 242
売上債権	3,415	21.1%	3,229	20.0%	▲ 186
棚卸資産	2,507	15.5%	3,017	18.7%	+ 510
その他流動資産	136	0.8%	151	0.9%	+ 15
流動資産	10,894	67.4%	10,990	68.2%	+ 96
有形固定資産	3,304	20.5%	3,285	20.4%	▲ 19
無形固定資産	258	1.6%	247	1.5%	▲ 11
投資その他資産	1,695	10.5%	1,585	9.8%	▲ 110
固定資産	5,258	32.6%	5,119	31.8%	▲ 139
資産合計	16,152	100.0%	16,109	100.0%	▲ 43
買入債務	610	3.8%	473	2.9%	▲ 137
その他流動負債	1,157	7.2%	1,154	7.2%	▲ 3
流動負債	1,768	10.9%	1,627	10.1%	▲ 141
固定負債	533	3.3%	475	2.9%	▲ 58
負債合計	2,301	14.2%	2,102	13.0%	▲ 199
自己資本	13,767	85.2%	13,909	86.3%	+ 142
純資産合計	13,850	85.7%	14,007	87.0%	+ 157
負債・純資産合計	16,152	100.0%	16,109	100.0%	▲ 43

キャッシュ・フローの状況



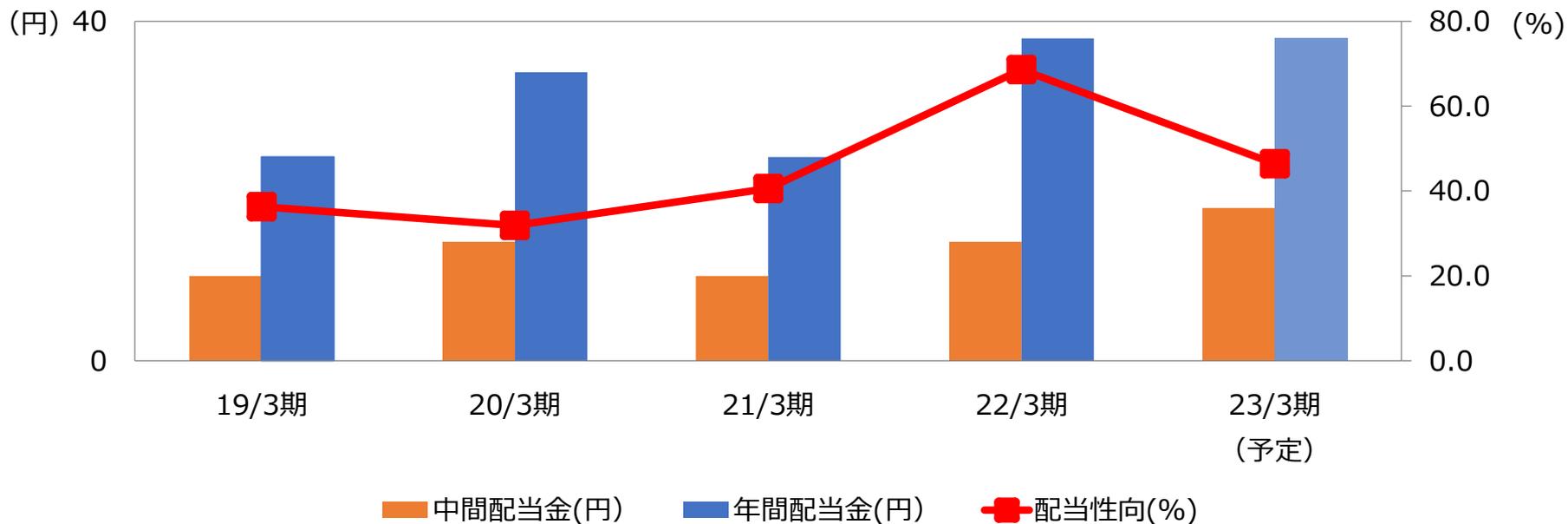
➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー概況：

税金等調整前当期純利益 +410百万円、減価償却費 +128百万円

棚卸資産の増加 ▲478百万円、仕入債務の減少 ▲144百万円

株主還元について

連結配当性向40%以上かつ連結自己資本配当率（DOE）2%以上



	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期 (予定)
中間配当金(円)	10	14	10	14	18
年間配当金(円)	24	34	24	38	38
配当性向(%)	36.3	31.9	40.6	68.6	46.4
自己資本配当率(%)	1.4	2.0	1.3	2.0	2.0

今期計画

▶ 上期の実績及び足元の状況から、受注高及び売上見通しを修正

(単位：百万円)

	22/3期 実績	23/3期 修正前計画	23/3期 新計画	増減率 実績比	増減率 修正前計画比
受注高	9,579	10,000	10,500	+10%	+5%
売上高	8,117	9,200	9,000	+11%	▲2%
営業利益	563	800	800	+42%	0%
営業利益率(%)	6.9%	8.7%	8.9%	-	-
経常利益	650	860	860	+32%	0%
経常利益率(%)	8.0%	9.3%	9.6%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	406	600	600	+48%	0%
当期純利益率(%)	5.0%	6.5%	6.7%	-	-
1株当たり当期純利益(円)	55.41	81.86	81.86	+48%	0%
受注残高	4,376	5,176	5,876	+34%	+14%

下期事業方針

プロセス事業

- EV向け高品位鉄鋼・非鉄金属メーカーへの販売活動注力
- 製品ラインナップ拡充による顧客への提案訴求力強化
- 海外子会社の生産・サービス強化

ウェブ事業

- E+L社製品を含めた環境負荷低減に寄与する製品販売注力
- 二次電池業界など成長分野へ注力し利益面向上
- 光学技術活用による新製品開発

検査機事業

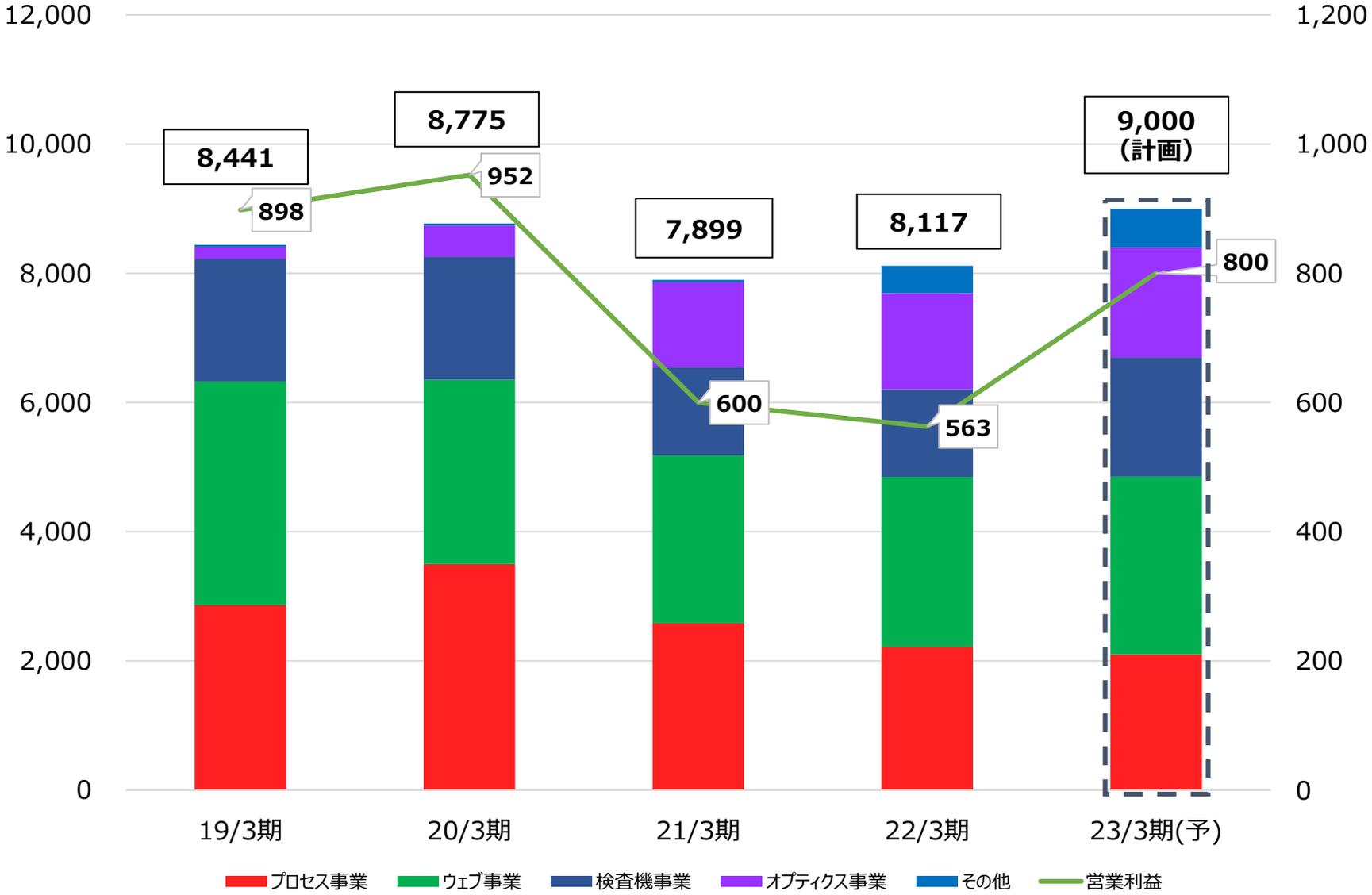
- 二次電池業界をターゲットに新製品の販売拡大
- 技術サポート強化による海外展開強化
- データ活用による検査機能の進化と取扱製品群拡大に向けた取り組み

オプティクス事業

- 深紫外線を利用した半導体検査装置業界におけるシェア拡大
- 結晶加工技術・研磨技術の強みを活かした新規用途開拓
- レーザ製品の医療分野向け販売拡大

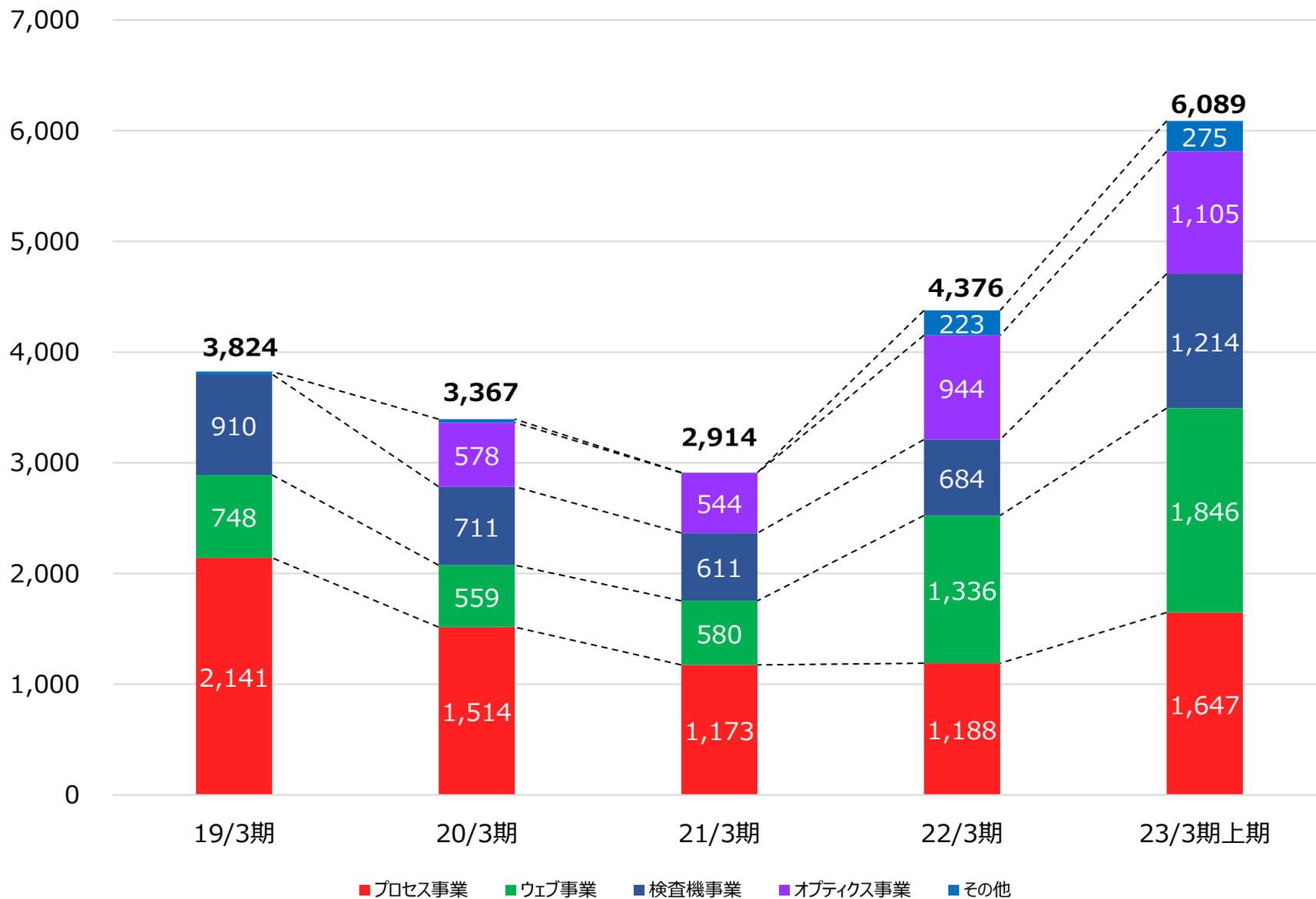
業績推移

(単位：百万円)



受注残高状況推移

(単位：百万円)



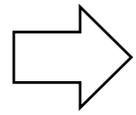
2. 持続的成長に向けて

持続的成長に向けた重点テーマ

いかなる環境下においても成長できる企業グループの実現

市場の拡大

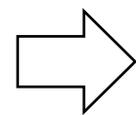
- 海外展開の推進強化
- 検査機事業・オプティクス事業の強化
- 新製品開発による新事業分野の開拓



事業基盤の拡大強化

技術の進化

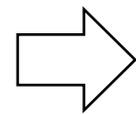
- 画像解析技術の高機能化による製品展開
- 光応用技術による製品開発



競争優位性の向上

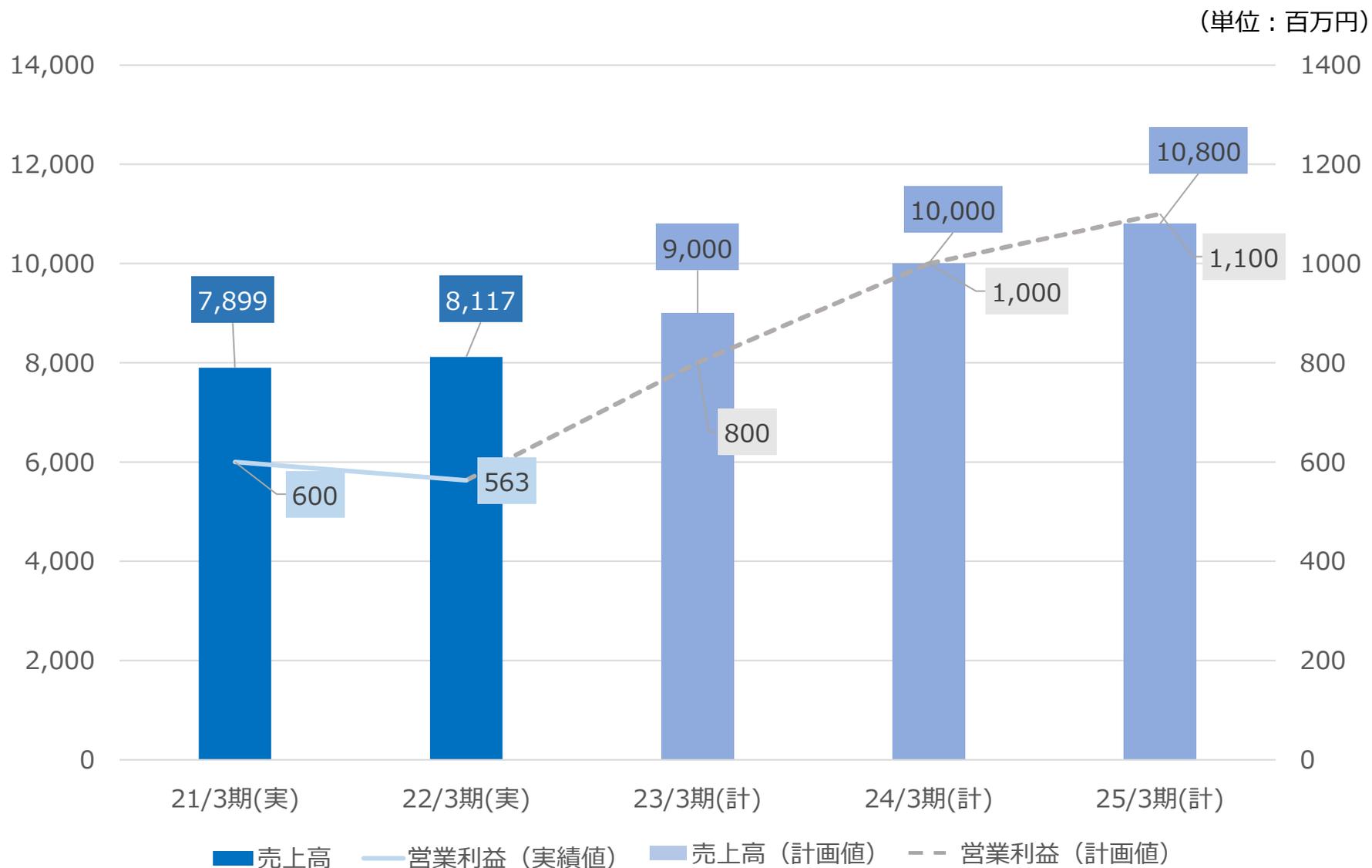
経営体質の強化

- 既存事業の収益改善
- グループ・外部との連携強化によるシナジー最大化
- 競争力強化のための人的投資、並びにインフラ投資



経営基盤の強化

中期目標



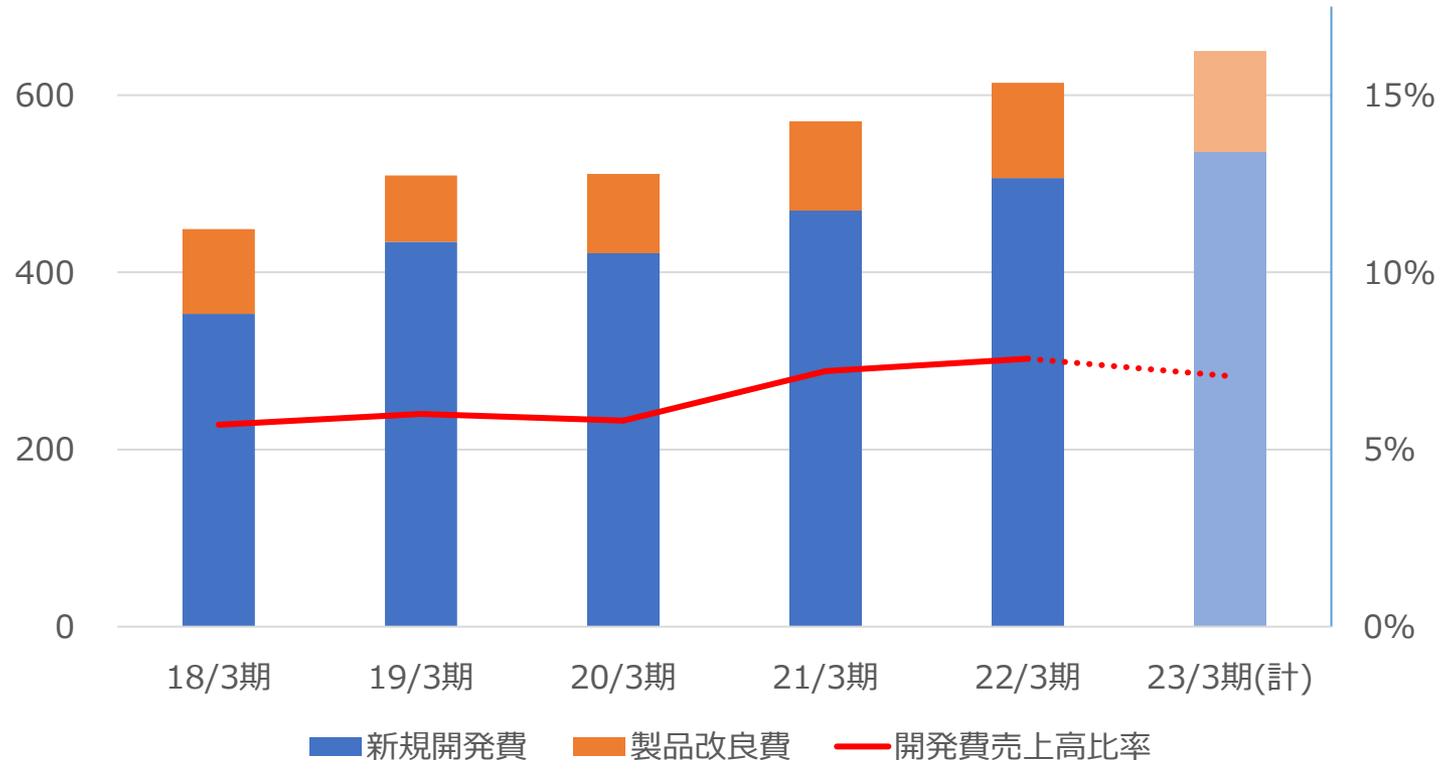
R&D

➤ 強みを持つ技術を活用し、新たな収益源の創出に向け、開発案件への取組みを加速

主な開発テーマ

- 次世代画像検査装置の開発
- レーザー技術による製品開発
- 光応用検査・計測装置の開発

(単位：百万円)



3. トピックス

自己株式の保有に関する方針を決定

当社は、2022年8月8日に保有する自己株式に関する方針を決定し、自己株式の保有は発行済株式総数の5%を目安とし、超過する場合は原則1年以内に超過状態を解消することといたしました。

また、本方針に合わせ、保有する自己株式の消却を実施しました。

自己株式消却の概要

消却株式の数	590,000株
消却前の発行済株式総数に対する割合	7.10%
消却日	2022年8月31日
消却後の発行済株式総数	7,715,249株
自己株式数（2022年9月30日現在）	385,637株 発行済株式総数比：5.00%

米国SciAps, Inc.,と総代理店契約を締結

SciAps, Inc.,は携帯型XRF（蛍光X線元素分析法、X-ray Fluorescence Analysis）分析装置、LIBS（レーザー誘起ブレークダウン分光法、Laser-induced breakdown spectroscopy）分析装置を製造するメーカーとして、鉄鋼、非鉄金属、金属加工、プラント製造設備、金属スクラップ、鉱山、レアメタルリサイクル、建築分野、食品、農業、製薬、学術研究などの多分野にハンドヘルド型分析装置を提供しています。

同社との総代理店契約締結により、同社の携帯型元素分析装置を当社と関連の深い鉄鋼・非鉄金属産業向けの販売活動を展開していくほか、金属加工、プラント製造設備、金属スクラップ、レアメタルリサイクル、建築分野、食品、農業、製薬などの各業界へ提供してまいります。



■ SciAps 社製LIBS Z900 シリーズ



■ SciAps 社製XRF X-500 シリーズ

トピックス

新型電極シート検査装置「Mujiken-RB」を発売

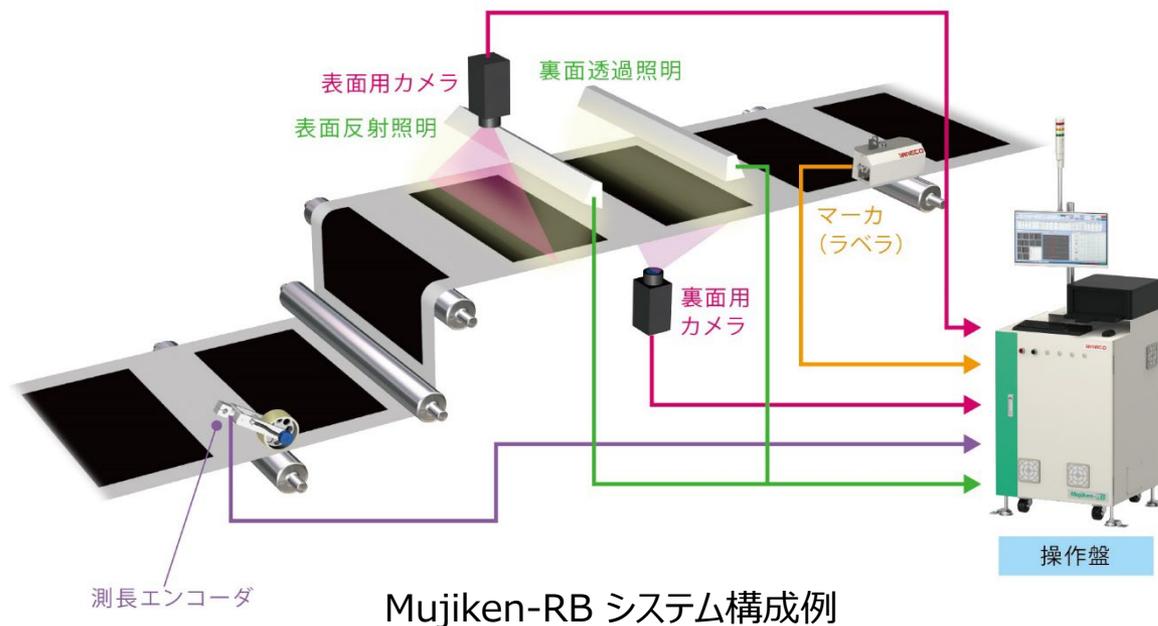
二次電池の正・負極材製造ラインで検査、計測が可能な電極シート検査装置 Mujiken-RB を開発いたしました。

世界的な環境問題への意識の高まりなどから、電気自動車向けをはじめとする二次電池の需要は飛躍的に高まっており、その生産体制も拡充が続いています。今般開発した Mujiken-RB は、電極シート生産ラインにおける検査効率向上を実現すべく、独自開発の高速カメラと高速画像処理エンジン採用により、従来機に対しより高精度な計測・検査と、ライン速度最大約4倍*にも対応可能となりました。

*標準仕様比



Mujiken-RB 本体



Mujiken-RB システム構成例

参考資料

会社概要

会社名	株式会社ニレコ
代表取締役社長	久保田 寿治
本社所在地	東京都八王子市石川町2951-4
設立	1950（昭和25）年11月
上場市場	東京証券取引所スタンダード
資本金	3,072百万円*
連結従業員数	453名*
連結売上高	8,117百万円*

* 2022年3月期末連結

沿革

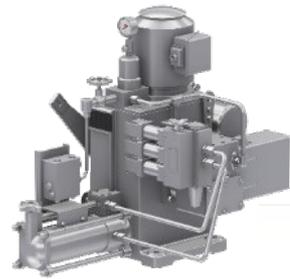
- 1950年 : 東京都中央区に日本レギュレーター株式会社を設立
- 1979年 : 東京都八王子市に本店を移転
- 1984年 : 商号を「株式会社ニレコ」に変更
- 1989年 : 日本証券業協会に株式を店頭公開
- 1990年 : ミスミ電子株式会社（現ミヨタ精密株式会社）を子会社化
- 1998年 : 仁力克股份有限公司を子会社化（台湾）
- 2003年 : 尼利可自動制御機器（上海）有限公司を設立（中国）
- 2004年 : JASDAQ証券取引所に上場
- 2013年 : 東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）上場に移行
- 2014年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.を設立（韓国）
- 2018年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.が土地・建物取得し生産体制整備
- 2019年 : 株式会社光学技研を子会社化
- 2021年 : 西武電機株式会社を子会社化
- 2022年 : 東京証券取引所の市場再編に伴い、スタンダード市場へ移行

「技術と信頼」

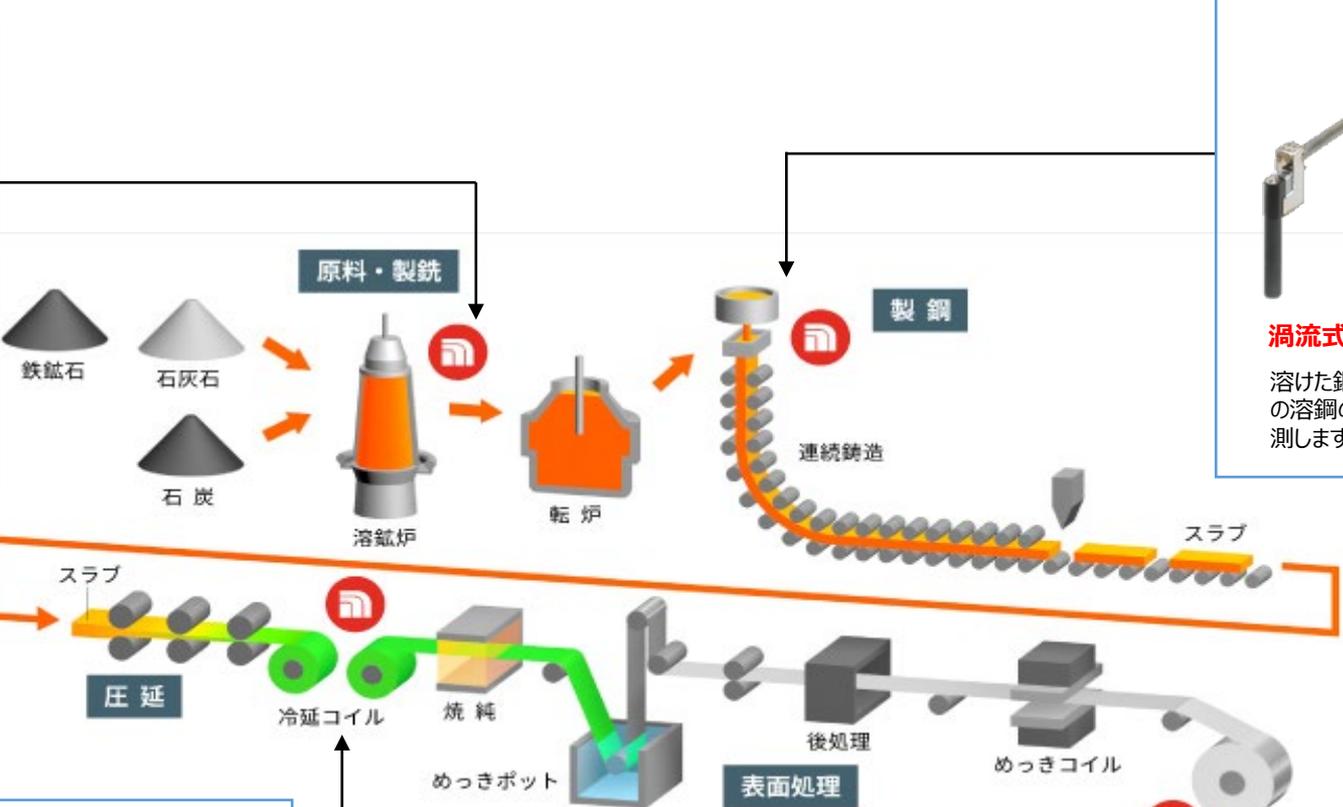
われわれは、制御、計測、検査の技術を活かした製品ときめ細かいサービスの提供により、お客様から厚い信頼を獲得し、良きパートナーとして共に成長します。さらに、パートナーシップにより生み出した価値を広く社会に応用することで、豊かで持続可能な社会の実現に貢献していきます。

プロセス事業

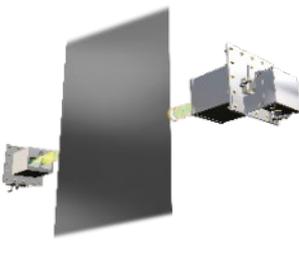
鉄鋼をはじめ、金属、ガス、化学工業等あらゆる工業における自動制御装置を扱う事業です。



プロセス制御装置
溶鉱炉内の圧力、流量、温度等の制御を行っています。



渦流式溶鋼レベル計
溶けた鋼を型に流し込む際の溶鋼の表面の位置を計測します。



耳端位置制御装置
製造ラインを流れるスラブ（鋼材）の蛇行制御を行っています。



自動識別印字装置
できあがった金属素材に様々な情報を印字しています。

ウェブ事業

主に紙・フィルム・箔等薄いシート状素材（=ウェブ）の位置制御装置等を扱う事業です。



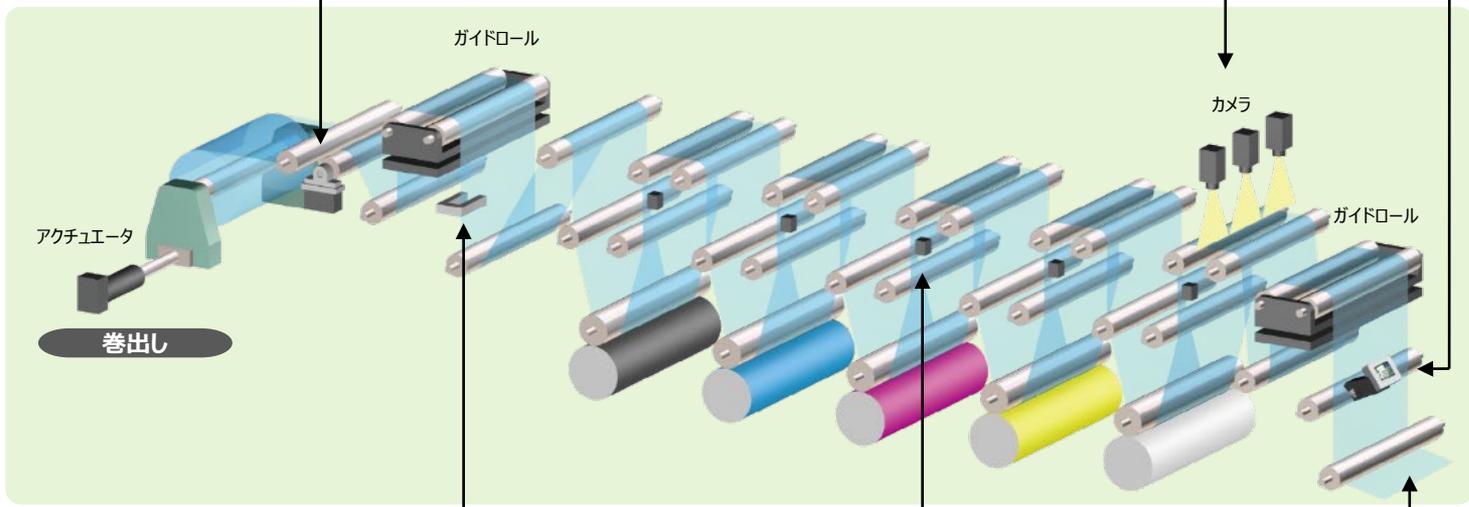
張力制御装置
ウェブの張力を一定に保ちしわ・たるみの発生を防ぎます。



印刷品質検査装置
印刷ラインの欠点を検出します。



**耳端位置制御装置
(絵柄基準)**
ウェブの規定位置を保ち蛇行を防ぎます。



**耳端位置制御装置
(エッジ・センター基準)**
ウェブの規定位置を保ち蛇行を防ぎます。



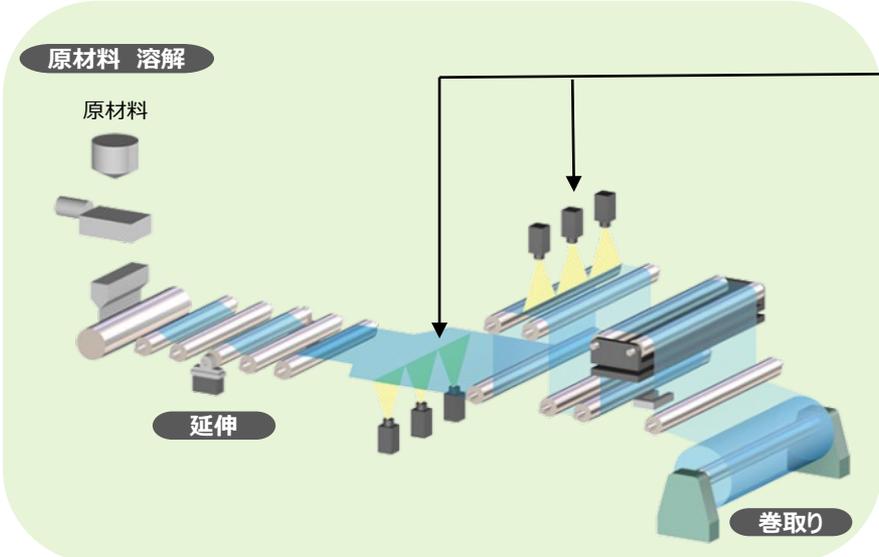
自動見当制御装置
グラビア印刷の縦横見当を自動制御します。



糊付け装置
様々な製品パターンに応じて糊付けを行います。

検査機事業

長年に渡り培ってきた画像処理技術をベースに、農産物から電子部材に至るまで幅広い製品の品質検査装置を扱う事業です。

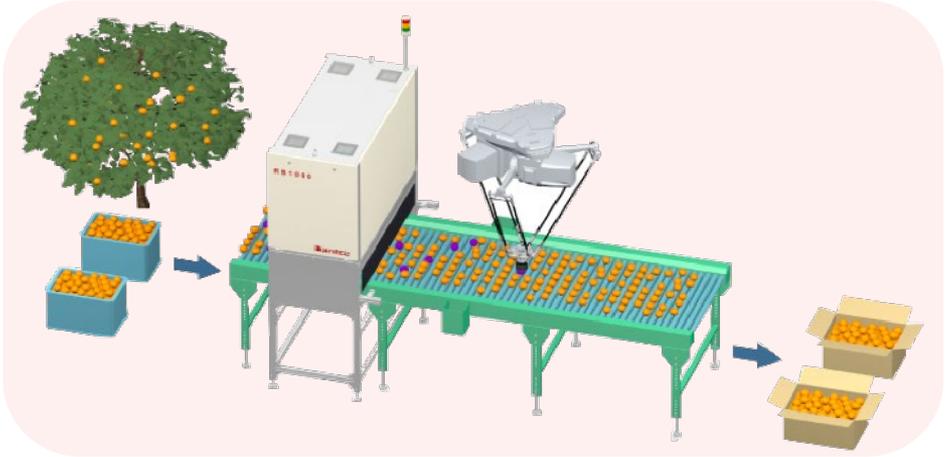


無地検査装置

あらゆる加工現場にて高速搬送されるフィルム、紙、金属といった無地素材の表面欠陥（キズ、汚れ、異物）等を検査します。

選果装置

農産物の品質を外部（キズ、腐敗、サイズ等）、あるいは内部（糖度、酸度）要因から瞬時に非破壊で判別します。



オプティクス事業

長年に渡り培ってきたレーザー関連製品やグループ会社の株式会社光学技研が取り扱う高度な技術を必要とする特殊な光学部品を扱う事業です。

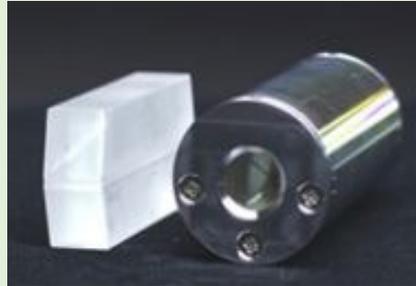
- 主要用途：
 - 半導体検査装置
 - 光学機器
 - 医療機器

光学部品



非線形光学結晶
半導体検査装置等で用いられる紫外光発生に適したCLBO素子を提供し、高い評価を受けています。

偏光子
特定の光を取り出すことのできる偏光子を、学術研究分野、光学機器分野、レーザー用途等、幅広く提供しています。



レーザー関連製品



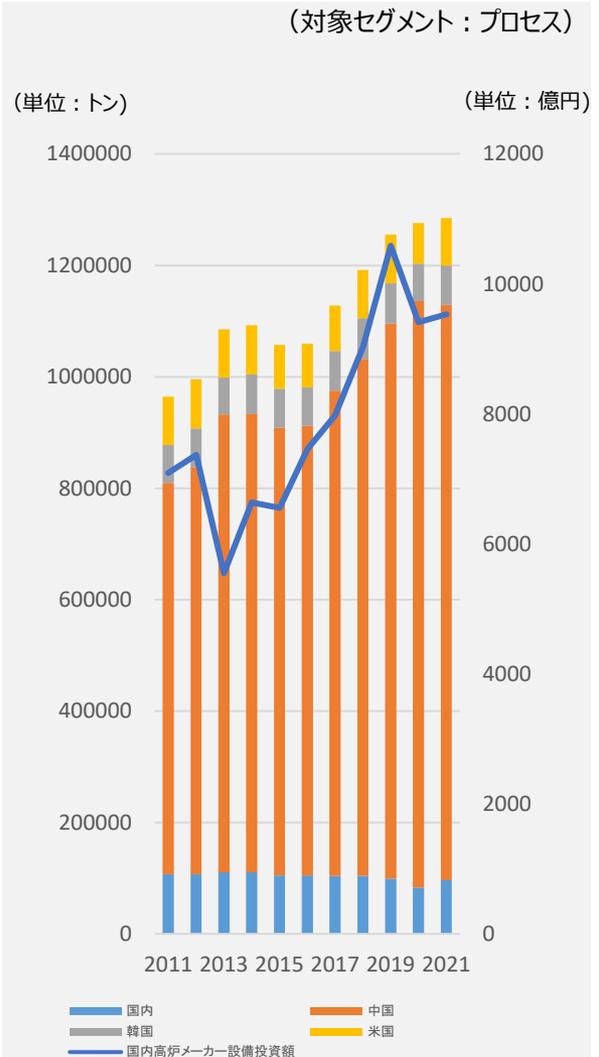
深紫外ファイバーレーザー Cygnus
深紫外ファイバーレーザーを用いたマスク検査を実現します。定期的なメンテナンスは年1回と安定的な性能を有しています。



レーザー装置 HR-G10
高出力グリーンレーザーを用い、シリコンウエハへの加工、金属へのマーキング、樹脂内のマーキング、薄膜加工等、多用途に用いることが可能です。

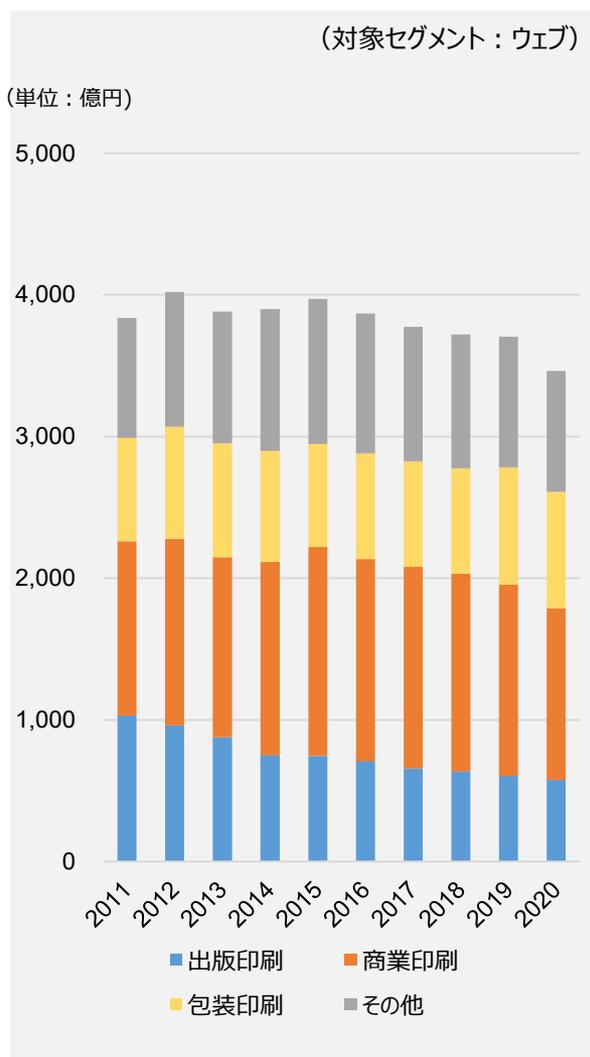
各事業市場動向

地域別粗鋼生産量及び 国内高炉大手設備投資額の推移



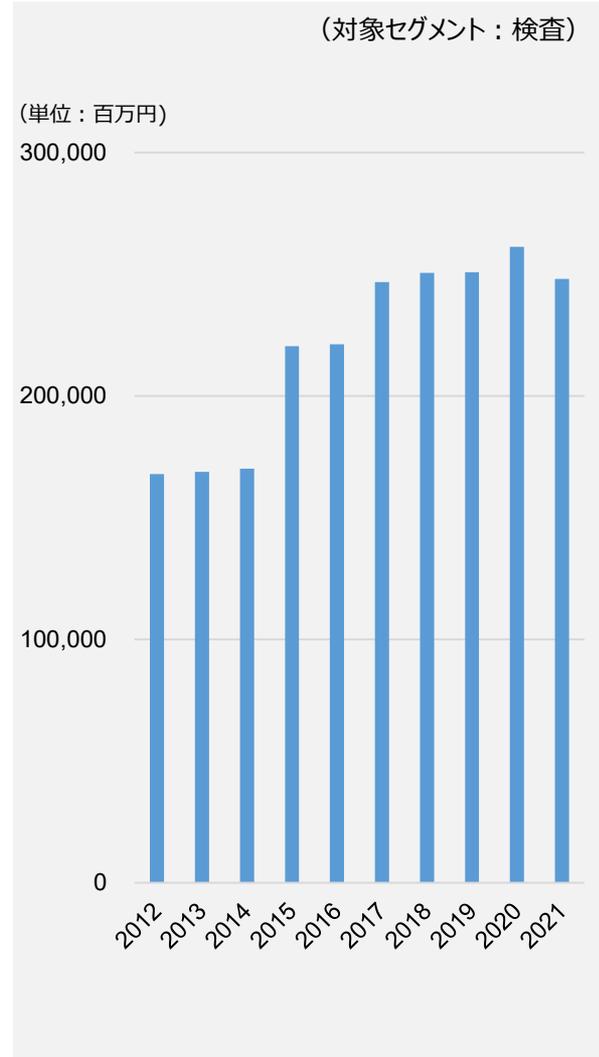
[出展：日本鉄鋼連盟]

印刷市場規模の推移



[出展：工業統計、生産動態統計より当社集計]

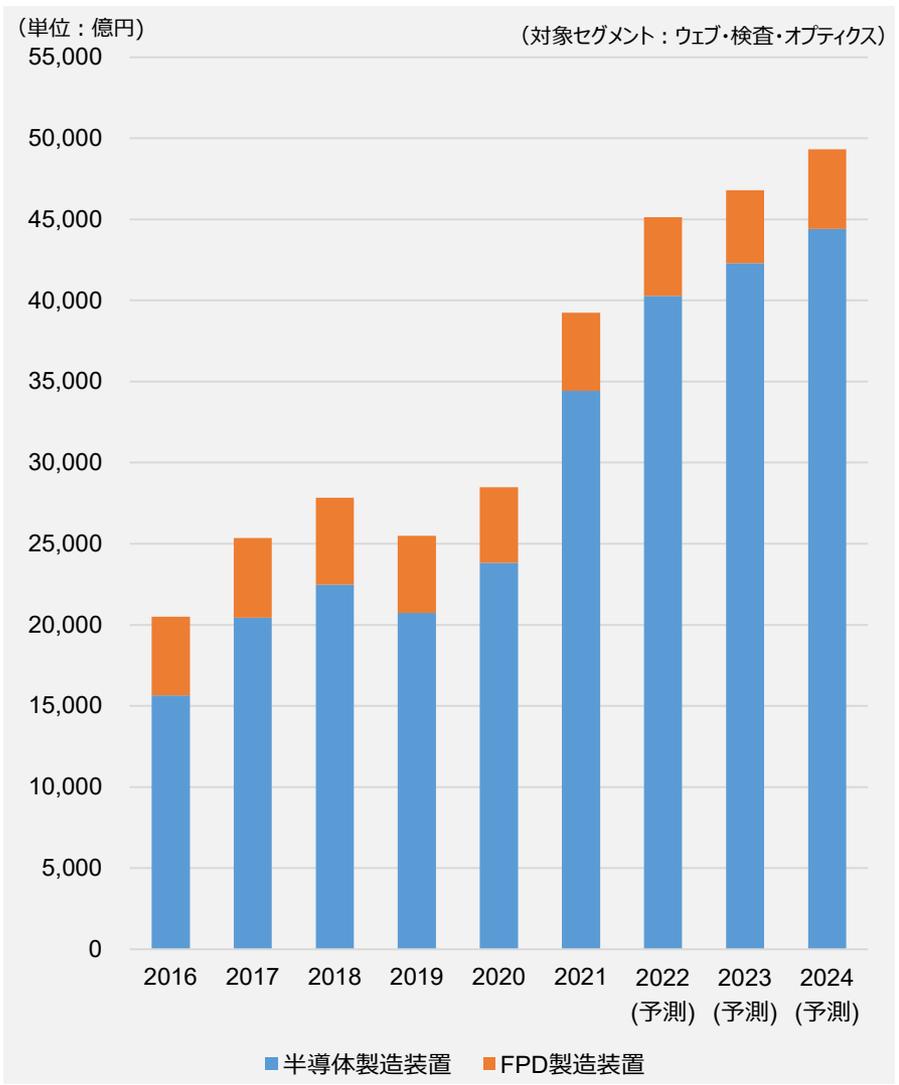
食品機械国内販売額の推移 (除、加工機械)



[出展：日本食品機械工業会資料]

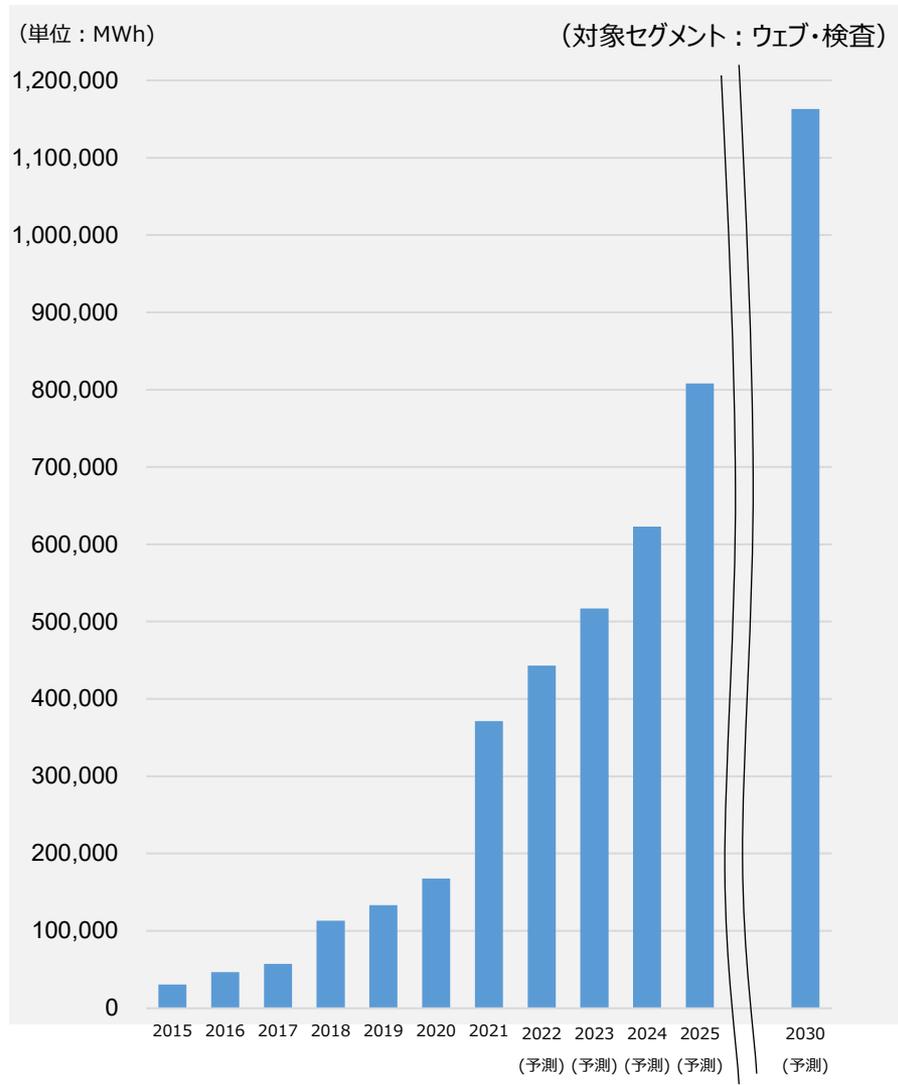
各事業市場動向

半導体・FPD製造装置需要予測



[出展：日本半導体製造装置協会]

車載用Lib世界市場予測



[出展：矢野経済研究所資料]

数値データ

(単位：百万円)

		21/3期上期	21/3期	22/3期上期	22/3期	23/3期上期
売上高	プロセス事業	1,081	2,584	1,045	2,216	1,023
	ウェブ事業	1,129	2,599	1,361	2,631	1,142
	検査機事業	769	1,365	800	1,356	686
	オプティクス事業	621	1,313	684	1,489	870
	その他	18	37	127	423	282
	合計	3,620	7,899	4,019	8,117	4,004
セグメント損益	プロセス事業	203	412	89	313	109
	ウェブ事業	138	291	157	230	142
	検査機事業	31	-19	33	35	1
	オプティクス事業	206	399	182	401	358
	その他	0	-1	23	39	6
	調整額	-238	-480	-232	-456	-253
合計	341	600	253	563	364	
受注高	プロセス事業	1,054	2,242	1,378	2,232	1,483
	ウェブ事業	1,221	2,620	1,823	3,387	1,652
	検査機事業	498	1,265	693	1,429	1,216
	オプティクス事業	604	1,280	954	1,888	1,031
	その他	17	39	261	642	334
	合計	3,397	7,447	5,111	9,579	5,718
受注残高	プロセス事業	1,487	1,173	1,506	1,188	1,647
	ウェブ事業	651	580	1,042	1,336	1,846
	検査機事業	441	611	505	684	1,214
	オプティクス事業	562	544	814	944	1,105
	その他	1	4	138	223	275
	合計	3,144	2,914	4,006	4,376	6,089

NIRECO